

知っていますか？

日本人口の7%に
障がいがあるという事実を。

そして、生きづらさを抱えている人は

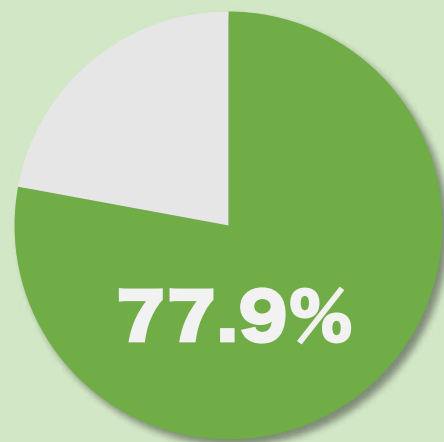
さらに多いという現実を。

しかし、

サポートの手は足りていません。



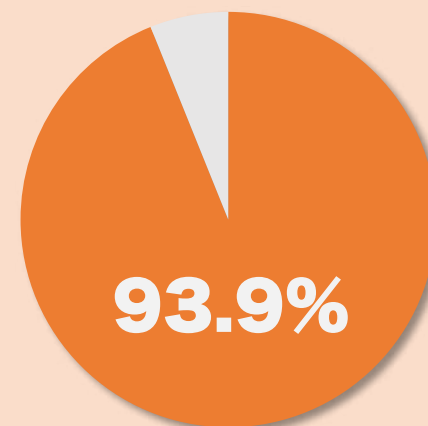
その理由は、「ただ、よく分からないから。」



適切なサポートができる
自信がない

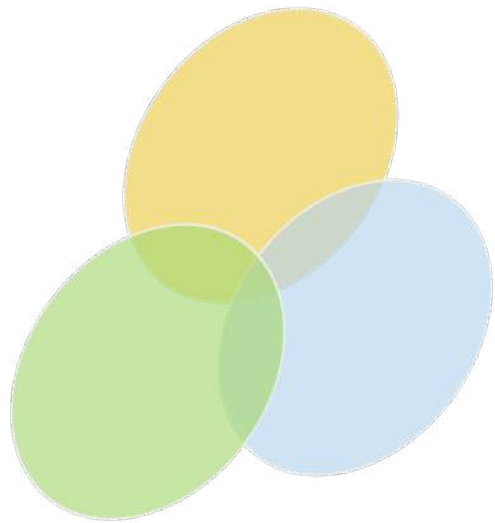


どのようにサポートしたら
良いか分からない



調査概要 WEBアンケート調査 対象者：全国・男女・20歳から69歳 n数：1000名
期間：2021年7月1日(木)～7月5日(月) アンケート調査元（株式会社ネオマーケティング）

あなたは、どうですか？



今年 障がい者差別解消法が改正された

障がい者差別解消法とは、
障害のある人への差別をなくすことで、障害の有無にかかわらず
お互いに人格と個性を尊重し合いながら
共に生きる社会をつくることを目指す法律。

改正に伴い

民間事業所においても、**合理的配慮**が義務化

これまでは国や自治体のみ義務であり、民間事業所では努力義務だった

合理的配慮とは

障害のある人とそうでない人の機会や待遇を公正に確保し、
支障となっている事情を改善、調整するための措置のこと。



配慮 が何もない状態…



平等 ではあるけど左の子
はまだ見えない…



公正 さが担保されて全員
が試合を観られる！

合理的配慮への取り組み方

①障がいのある人の要望を尊重し、話し合う

障がいの特性は人によって異なり、必要とする配慮や工夫も様々。
話し合い、ニーズを正しく認識することが大切。

②負担が重すぎない範囲で取り組む

障がい者の要望が、事務・事業への影響、物理的・体制上の制約、
費用負担などの観点において、「医療機関の過度な負担」を伴うと思われる場合は、
本人に理由を説明して理解を得るとともに実現可能な代替案を考える。

合理的配慮のエピソード

①聴覚障がいのある方

(困りごと)

口の動きで大まかな会話は読み取ることができるが、マスクをつけたまま話すと読み取ることができない

(配慮のエピソード)

筆談やPCモニタを交えながら説明してくれた

②肢体不自由の方

(困りごと)

受付のカウンターが高く、車椅子に乗ったまま用紙を記入したり支払いをすることに不便を感じる

(配慮のエピソード)

カウンターの外に出てきて対応してくれた記入用のボードや釣り銭トレイを渡してくれた

何に困っているかを考え、その方に応じたサポートを

「サポートは誰にだってできること。」

けれど、

サポートの手は、足りていません。



義務化になることすら知らないという人が大多数な現状

Plus Heart Action



われわれ伯鳳会グループは、
職員一人ひとりが同法改正の理解と合理的配慮を実践しながら、
内外にその活動を発信することで、
地域社会とともに切れ目のない共生社会の実現を目指します。

助け合いも平等へ —社会と共にある医療機関—



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

伯鳳会グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



プラスハートアクションとは

伯鳳会グループがはじめた
サポートのハードルを下げ、
誰もが気軽に助け合える
やさしい社会を目指す活動。

繋ぐ

サポートを
求める声を社会へ

Plus Heart Action



迷わずに行動へ
移すことを訴える

広げる

求める

分かりやすい
サポートの形を示す

繋ぐ

行政・障がい者・学生を一堂に、共に学ぶ
それぞれの想いと取り組みを繋ぎ、社会に発信する



障がい者とヘルプマークの今を知ろう おせっかい広めへん？大阪から！

【講師】

大阪府福祉部障がい福祉企画課 権利擁護グループ
大阪市高速電気鉄道株式会社

【参加者】

NPO法人 線維筋痛症友の会 副理事長
櫻スタートラベル 代表

学生：大阪大学、大阪府立大学、大阪市立大学



雲雀ヶ丘学園高等学校 後期探求ゼミ2021

～合理的配慮に学ぶ
グローバルリーダーシップPBLプログラム～



求める

一人ひとりの行動が必要であると、強く訴える
分かりやすいサポートの形を示し、賛同を求める



「医療だけでは限界がある」
だから、サポートを❤️にしませんか？

新宿駅スーパープレミアム特別広告
ピールオフ形式：マスク約500枚
2021年8月9日～7日間掲出



マスクに❤️をプラスすると
「困っている人がいたら
サポートしたい」
という表明になります



広げる

障がいの理解とサポートの必要性を拡散する
人からひとへ、共感の輪を拡大させる



♥があふれる社会になりますように

— 動画・SNS・WEBを用いた全国への拡散 —

#青いハートがあふれる社会を



未来を感じる動画メディア



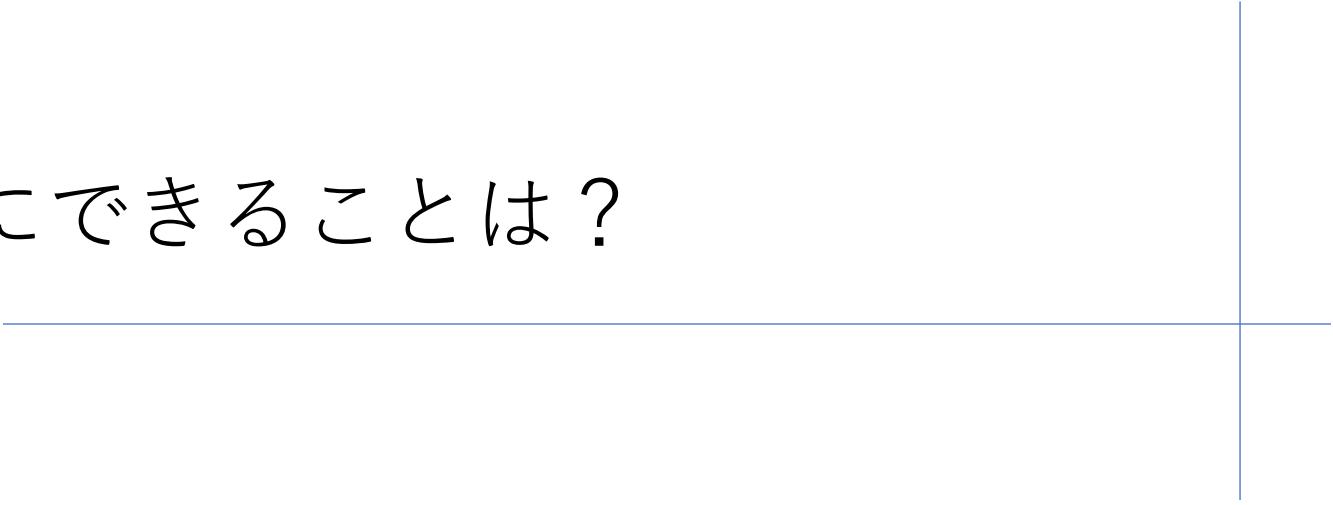
広げる

障がいの理解とサポートの必要性を拡散する 人からひとへ、共感の輪を拡大させる



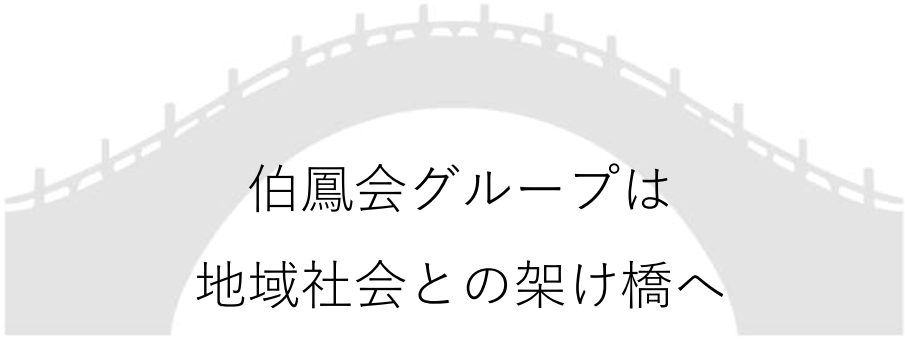
#青いハートがあふれる社会を

私たちにできることは？



サポートの足りない社会を変えていく。





伯鳳会グループは
地域社会との架け橋へ

♥ をつけた私たちがお手本です



見てみぬふりは、もうやめた。

誰ひとり取り残さず、皆いそいそ。

A close-up photograph showing a person's hands being held by another person's hands. The person being held is wearing a blue and white striped shirt and is seated in a wheelchair. The hands holding them are light-skinned and appear to be belonging to a caregiver. The background is blurred, suggesting an outdoor setting with greenery.

私たちから始めよう。

「おせっかい」

「おせっかい」が、世界を変える。



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT **GOALS**

伯鳳会グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



Plus Heart Action

